

7 教職課程

教職課程とは、「教育職員免許法」により授与される免許状を取得するために、履修しなければならない課程です。教育職員免許状の取得を希望する学生は、卒業要件単位の修得と併せて、「教育職員免許法」に基づき指定された単位を修得しなければなりません。

したがって、教職課程の履修については、この学生生活ハンドブックを熟読し、入学時より計画的に履修するように心がけてください。

なお、教職課程を履修する学生は、「教師」の勤めの厳しさを自覚し、相当の負担を要することをあらかじめ十分理解しておくとともに、教育現場での実習に対する強い目的意識、教職への厳しい姿勢を持つことが必要です。

本学で取得できる免許状の種類

■キャリア・イングリッシュ専攻

- ・中学校教諭一種免許状・高等学校教諭一種免許状（英語）

本学のカリキュラムは、中学校教諭一種免許状（英語）と高等学校教諭一種免許状（英語）の課程を同時に履修します。

■保育・幼児教育専攻

- ・幼稚園教諭一種免許状

■児童教育専攻

- ・小学校教諭一種免許状
- ・特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

※特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）を取得するためには、免許法の定めるところにより、「基礎免許状」が必要です。基礎免許状とは小学校、中学校、高等学校または幼稚園の教諭の普通免許状を指します。

介護等の体験について

小学校及び中学校の教諭の普通免許状を授与するための要件として、教育職員免許法第5条第1項に規定する要件に加え、介護等の体験が必要となります。

介護等の体験とは、18歳に達した後、7日間を下らない範囲内において文部科学省令で定める期間、特別支援学校、又は社会福祉施設その他の施設で文部科学大臣が厚生労働大臣と協議して定めるもの（受入施設）において行われる介護等の体験を指すものです。

本学では、3年次に教職科目「介護等体験実習」において、施設での体験（5日間）と特別支援学校での体験（2日間）を行います。

<免許状取得に必要な基礎資格及び最低修得単位数について>

教育職員免許法に定める、各免許状の取得に必要な基礎資格および最低修得単位数は次のとおりですが、教師として十分な資質を持つ者を養成する観点から、これに加えて各大学が定める履修科目があります。

本学における免許状取得に必要な科目と単位数は、教職課程履修規程別表Ⅰから別表5-2（pp.130～134）のとおりです。確認の上、間違いのないよう履修してください。

－省令で定める要修得単位数－

免許状の種類	基礎資格	教科及び教職に関する科目					その他免許法に定める必要科目			
		領域及び保育内容の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	16	10	4	7	14	2	2	2	2

免許状の種類	基礎資格	教科及び教職に関する科目					その他免許法に定める必要科目			
		教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション	情報機器の操作
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	30	10	10	7	2	2	2	2	2
中学校教諭一種免許状(英語)		28	10	10	7	4				
高等学校教諭一種免許状(英語)		24	10	8	5	12				

免許状の種類	基礎資格	特別支援教育科目
特別支援学校教諭一種免許状 (知的障害者) (肢体不自由者) (病弱者)	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること。	26

<教職履修カルテについて>

1. 教職履修カルテとは

教員免許状を取得するためには、4年次後期に「教職実践演習」を履修しなければなりません。この科目は、一人一人が教職課程の履修や教育実習を全体的に振り返り、教師として最小限必要とされる能力、資質等が身に付いているかを確認するとともに、自ら課題を見つけ、解決しながら実践力を身に付けることを目標としています。このためには、1年次より一人一人が「教職履修カルテ」を作り、教員免許状の取得に必要な科目の修得状況のほか、教職科目の履修上の課題や課題達成状況など、各自の学修状況をきめ細かく入力し把握していくことが必要となります。

本学では、各人がいつでも履修状況の記録ができ、大学教員が個別あるいは系統的な指導ができるように、電子カルテシステムを導入しています。

2. 教職履修カルテの入力

下表の項目・内容について各自が入力します。入力は、Active Academyで行うことができます。詳細については、オリエンテーション（1年次：教職履修カルテオリエンテーション、2年次以降：新学期オリエンテーション）で説明します。

<注意>

※教員免許状取得希望者（編入学生を含む）は、**必ず「教職履修カルテ」を作成しなければなりません。**

シート名	入力内容
科目別評価	・成績評価が出た科目の学修課題および目標
資質評価	・前年度までの自己評価（各学年の4月に入力） ・教職を目指す上で課題と考えている事
総括的評価	・「教職に対する夢と希望」（各学年の4月に入力） ・教育実習、介護等体験、職場体験学修の感想等 ・その他教員から指示があったもの （ボランティア活動、授業研究会への参加等）
関連ファイル	・これまでの面談の記録等

<本学で教員免許状を取得するための履修条件について>

キャリア・イングリッシュ専攻

●中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）

1. 4年次の「英語科教育実習Ⅱ」の履修にあたっては、特別な事情がある場合を除き、以下のそれぞれの項目を満たす必要があります。
 - ①3年次終了までに[共通教育科目]の内、中学校・高等学校教諭一種免許状取得に係わる科目（必修10単位）を修得しておくこと。（教員免許法施行規則第66条の6関連科目）
 - ②3年次までの[教科及び教科の指導法に関する科目]の必修科目をすべて修得し、選択科目についてもできるだけ単位を修得しておくこと。
2. 英語力を定期的に学内TOEIC IPのスコアやTOEIC公開テストで測定し、以下①～③の基準をクリアするものとする。ただし、基準に達しない者には、面接指導を行う。
 - ①2年次前期終了時点：TOEICスコア450点
 - ②2年次後期終了時点：TOEICスコア500点
 - ③3年次前期終了時点：TOEICスコア550点
3. 実習に耐え得る健康状態であること。

保育・幼児教育専攻

●幼稚園教諭一種免許状

1. 3年次からの「幼稚園教育実習Ⅱ」の履修にあたっては、特別な事情がある場合を除き、以下のそれぞれの項目を満たす必要があります。
 - ①3年次終了までに[共通教育科目]の内、幼稚園教諭一種免許状取得に係わる科目（全11単位）を修得しておくこと。（教員免許法施行規則第66条の6関連科目）
 - ②3年次までの[領域及び保育の指導法に関する科目]の必修科目はすべて修得しておくこと。
2. 1年次または2年次終了時点で、必要と思われる学生には、適宜、今後の履修に係わる面接指導を行う場合があります。
3. 実習に耐え得る健康状態であること。

児童教育専攻**●小学校教諭一種免許状**

1. 3年次後期の「小学校教育実習Ⅱ」の履修にあたっては、特別な事情がある場合を除き、以下のそれぞれの項目をすべて満たす必要があります。
 - ①2年次終了までに[専門教育科目]教師力演習（2単位）を修得しておくこと。
 - ②2年次終了までに[共通教育科目]の内、小学校教諭一種免許状取得に係わる科目（全11単位）を9単位以上修得しておくこと。（教員免許法施行規則第66条の6関連科目）
 - ③2年次終了までの[専門教育科目]の内、小学校教諭一種免許状取得に係わる科目（全49単位）を47単位以上修得しておくこと。
2. 1年次または2年次終了時点で、必要と思われる学生には、適宜、今後の履修に係わる面接指導を行う場合があります。
3. 実習に耐え得る健康状態であること。

●特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）

1. 履修に関する条件
 - (1)4年次前期の「特別支援学校教育実習Ⅱ」の履修にあたっては、特別な事情がある場合を除き、以下のそれぞれの項目をすべて満たす必要があります。
 - ①2年次及び3年次の前後期における小学校教諭一種免許状にかかる履修条件をクリアしていること。
 - ②2年次終了までの[特別支援教育に関する科目]（必修科目）をすべて修得すること。
 - ③3年次終了までの[特別支援教育に関する科目]（必修科目）をすべて修得すること。
 - (2)特別支援教育に関する科目のGPA（以下、特支免科目GPA）について、以下の①～③の成績基準を満たしていない学生には面接指導を行う。
 - ①2年次前期終了時点：特支免科目GPA2.0
 - ②2年次後期終了時点：特支免科目GPA2.0
 - ③3年次前期終了時点：特支免科目GPA2.0
2. 支援体験に関する条件
 - (1)特別支援学校の学校行事等における支援体験
 - ①1年次生、2年次生：年間1回以上の支援体験を推奨する。履修継続判断での総合評価の対象とする。
 - ②3年次生：年間1回以上の支援体験を義務付ける。履修継続判断での総合評価の対象とする。
 - (2)継続的な支援活動・勉強会等への参加（学内・学外は問わない）

障がいのある子どもたちへの継続的な支援活動や支援に関する勉強会への参加を強く推奨する。具体的には、月1回～週1回程度の障がいのある子どもの教育・福祉・療育等における支援活動・勉強会への参加を要請し、履修継続判断での総合評価の対象とする。
 - (3)実習生調書への支援活動及び学校行事支援の履歴等の記入

4年次の特別支援学校教育実習に用いる実習生調書に、1年次からの上記の学校行事支援及び継続的な支援活動・勉強会等の履歴・内容を記入する。

なお、ボランティア証明書等が発行された場合は、実習生調書を実習先の学校に提出するにあたって添付することがあるので、保管しておくこと。
3. 実習に耐え得る健康状態であること。

※特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者）（肢体不自由者）（病弱者）を取得するためには、免許法の定めるところにより、「基礎免許状」が必要です。基礎免許状とは、小学校、中学校、高等学校または幼稚園の教諭の普通免許状を指します。

別表Ⅰ

幼稚園教諭一種免許状

科目区分		各科目に含めることが 必要な事項	授業科目名	配当 年次	単位数		備考
					必修	選択	
領域及び保育内容の指導法に関する科目	専門的 事項 に関する	健 康	こどもと健康	2	1		
		人間関係	こどもと人間関係	1	1		
		環 境	こどもと環境	1	1		
		言 葉	こどもと言葉	1	1		
		表 現	こどもと表現Ⅰ	1	1		
			こどもと表現Ⅱ	1	1		
	保育内容の指導法 (情報機器及び教材の活用を含 む。)	保育内容（総論）		1	2		
		保育内容（健康）		2	2		
		保育内容（人間関係）		2	2		
		保育内容（環境）		2	2		
		保育内容（言葉）		1	2		
		保育内容（表現Ⅰ）		1	2		
		保育内容（表現Ⅱ）		1	2		
小 計					20	0	
教育の基礎的 理解に関する 科目	教育の理念並びに教育に関する 歴史及び思想		教育原論	1	2		
	教職の意義及び教員の役割・職 務内容（チーム学校運営への対 応を含む。）		教職論	2	2		
	教育に関する社会的、制度的又 は経営的事項(学校と地域との 連携及び学校安全への対応を含 む。)		教育経営学	3	2		
	幼児、児童及び生徒の心身の発 達及び学習の過程		教育心理学	3	2		
	特別の支援を必要とする幼児、 児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	1		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメント を含む。)		幼児教育課程論	3	2		
小 計					11	0	
道徳、総合的な学 習の時間等に関する 科目	教育の方法及び技術(情報機器 及び教材の活用を含む。)		幼児教育方法	2	2		
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解	3	2		
	教育相談(カウンセリング) に関する 基礎的な知識を含む。)の理論 及び方法		教育相談	4	2		
小 計					6	0	
教育実践に 関する科目	教育実習	幼稚園教育実習Ⅰ (事前・事後指導)		3～4	1		
		幼稚園教育実習Ⅱ		3～4	4		
	教職実践演習		教職・保育実践演習（幼）		4	2	
小 計					7	0	
大学が独自に設定する科目				職場体験学修	2～3	2	
				器楽Ⅰ	1	1	
				器楽Ⅱ	1	1	
				チャイルドケア・ゼミ	1	2	
				障害児保育	2	2	
小 計					8	0	
合 計					52	0	

別表 2

小学校教諭一種免許状

科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	配当年次	単位数		備考		
					必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語(書写を含む。)	国語	1	2				
		社会	社会	2	2				
		算数	算数	1	2				
		理科	理科	2	2				
		生活	生活	1		2			
		音楽	音楽	1		2			
		図画工作	図画工作	1		2			
		家庭	家庭	1		2			
		体育	体育	1		2			
		外国語	小学校英語	2	2				
	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	国語(書写を含む。)	国語科教育法	2	2				
		社会	社会科教育法	2	2				
		算数	算数科教育法	2	2				
		理科	理科教育法	2	2				
		生活	生活科教育法	2	2				
		音楽	音楽科教育法	2	2				
		図画工作	図画工作科教育法	2	2				
		家庭	家庭科教育法	2	2				
		体育	体育科教育法	3	2				
		外国語	小学校英語教育法	2	2				
小 計					30	10			
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原論	1	2				
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職論	2	2				
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営学	3	2					
		教育法規	3		2				
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学	3	2				
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	1	1				
等指導法に関する科目	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		カリキュラム論	2	2		「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む。		
	小 計					11		2	
	道徳の理論及び指導法		道徳教育の理論と実践	2	2				
	総合的な学習の時間の指導法		特別活動・総合的な学習の時間の指導	3	2				
	特別活動の指導法								
	教育の方法及び技術		教育方法	2	2				
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		ICT活用指導論Ⅰ	3	2					
生徒指導の理論及び方法		生徒指導論(進路指導を含む)	3	2					
教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談	4	2					
小 計					12	0			
関教育実践に関する科目	教育実習	小学校教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	3	1					
		小学校教育実習Ⅱ	3	4					
	教職実践演習	教職実践演習(小)	4	2					
小 計					7	0			
大学が独自に設定する科目			ICT活用指導論Ⅱ	4		2			
小 計					0	2			
合 計					60	14			

別表 3

中学校・高等学校教諭一種免許状（英語）

科目区分		各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	配当 年次	単位数		備 考			
					必修	選択				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英語学	英語発音演習Ⅰ	2	2					
			英語発音演習Ⅱ	2	2					
			基礎英文法	1		2				
			応用英文法	1		2				
			英語学概論	2	2					
			英語史	2		2				
			日英語比較	3		2				
		英語文学	英語文学概論Ⅰ	1	2					
			英語文学概論Ⅱ	2	2					
			英語文学講読Ⅰ	3		2				
			英語文学講読Ⅱ	3		2				
		英語コミュニケーション	Advanced Communication EnglishⅠ	1		5				
			Advanced Communication EnglishⅡ	1		5				
			Advanced Communication EnglishⅢ	2		5				
			Advanced Communication EnglishⅣ	2		5				
			Communication EnglishⅠ	1		3				
			Communication EnglishⅡ	1		3				
			Communication EnglishⅢ	2		3				
			Communication EnglishⅣ	2		3				
			Academic WritingⅠ	3	2					
			Academic WritingⅡ	3	2					
			スピーチ&ディベートⅠ	3	2					
			スピーチ&ディベートⅡ	3	2					
		異文化理解	グローバル・スタディーズ	1	2					
			異文化圏体験学修	1～3		4				
			国際理解英語	3		2				
			United States' History	3		2				
			Cultural Comparisons	3		2				
			Global Issues in English	3		2				
		各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	英語科教育法Ⅰ	3	2					
			英語科教育法Ⅱ	3	2					
			英語科教育法Ⅲ	4	2					
			英語科教育法Ⅳ	4	2					
		小 計						28	56	選択科目については、 中学校 8 単位以上、 高等学校 1 6 単位以上を修得
		教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原論	1	2				
			教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	2				
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育経営学	3	2				
				教育法規	3	2				
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	3	2				
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育論	1	1				
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	カリキュラム論	2	2				
		小 計						13	0	
		教科に関する事項	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践 ※1	2	2			※1 中学校のみ	
			総合的な学習の時間の指導法	特別活動・総合的な学習の時間の指導	3	2				
特別活動の指導法										

科目 区分	各科目に含める ことが必要な事項	授業科目名	配当 年次	単位数		備 考
				必修	選択	
進徳 総合的な学習の時間 等の指導法及び生徒指導、 教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術	教育方法	2	2		※2 「進路指導及びキャリア教育の理論及び方法」を含む。
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	ICT活用指導論Ⅰ	3	2		
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導論(進路指導を含む)※2	3	2		
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	4	2		
小 計				12	0	
教育実践に関する科目	教育実習	英語科教育実習Ⅰ(事前・事後指導)	3～4	1		
		英語科教育実習Ⅱ	4	4		
	教職実践演習	教職実践演習	4	2		
小 計				7	0	
大学が独自に設定する科目	ボランティア学修論		1	1		
	教師力演習		1		2	
	介護等体験実習		3	2		
小 計				3	2	
合 計				63	58	

別表 4

特別支援学校教諭一種免許状(知的障害者)(肢体不自由者)(病弱者)

免許法施行規則に定める科目区分		左記に対応する開設授業科目					
		授業科目	配当年次	単位数		中心となる領域	含む領域
				必修	選択		
特別支援教育の基礎理論に関する科目		障害者教育総論	1	2			
特別支援教育領域に関する科目	に心身障害のある幼児、児童又は生徒の心理、発達及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理Ⅰ	2	2		知的障害者	
		知的障害者の心理・生理・病理Ⅱ	2	2		知的障害者	
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2	2		肢体不自由者	知的障害者 病弱者
		病弱者の心理・生理・病理	2	2		病弱者	知的障害者 肢体不自由者
	に心身障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害教育総論Ⅰ	3	2		知的障害者	肢体不自由者 病弱者
		知的障害教育総論Ⅱ	3	2		知的障害者	
		肢体不自由教育総論	3	2		肢体不自由者	
		病弱教育総論	3	2		病弱者	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	に心身障害のある幼児、児童又は生徒の心理、発達及び病理に関する科目	発達障害教育総論（心理等）	2	1		重複・LD等領域	
		視覚障害教育総論（心理等）	3	1		視覚障害者	
		聴覚障害教育総論（心理等）	3	1		聴覚障害者	
		重複障害教育総論（心理等）	3	1		重複・LD等領域	
	に心身障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害教育総論（教育課程等）	2	1		重複・LD等領域	
		視覚障害教育総論（教育課程等）	3	1		視覚障害者	
		聴覚障害教育総論（教育課程等）	3	1		聴覚障害者	
		重複障害教育総論（教育課程等）	3	1		重複・LD等領域	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援学校教育実習Ⅰ（事前・事後指導）	3～4	1				
	特別支援学校教育実習Ⅱ	4	2				
合 計				29	0		

別表５－１－１

教育職員免許法施行規則第６６条の６関連科目（幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状）

施行規則で定める科目及び単位数		授業科目名	配当 年次	単位数		備考
				必修	選択	
日本国憲法	2単位	日本国憲法	2	2		いずれか1科目 (2単位)以上を 修得
体 育	2単位	スポーツ実技	1	1		
		健康科学論	1	2		
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ	1	2		
		英語Ⅱ	1	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報基礎	1		2	
		情報活用基礎	1		2	
合 計				9	4	

別表５－１－２

教育職員免許法施行規則第６６条の６関連科目（中学校・高等学校教諭一種免許状（英語））

施行規則で定める科目及び単位数		授業科目名	配当 年次	単位数		備考
				必修	選択	
日本国憲法	2単位	日本国憲法	2	2		
体 育	2単位	スポーツ実技	1		1	
		健康科学論	1	2		
外国語コミュニケーション	2単位	英語Ⅰ	1	2		
		英語Ⅱ	1	2		
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2単位	情報基礎	1	2		
合 計				10	1	

別表５－２

免許法特例法第２条に規定する「介護等体験」関連科目

授業科目名	配当 年次	単位数		備考
		必修	選択	
介護等体験実習	3	2		対象者：小学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状（英語）取得希望者